

令和4年度 授業改善に関するカリキュラム・マネジメントリーダー研修 成果報告書

学校名 府立千里高等学校	名前
--------------	----

1 学校教育目標（めざす生徒像）

「国際社会や地域社会において持続可能な開発のための目標（SDGs）2030 アジェンダを実践できる人材の育成」

2 令和4年度の校内研究の取組み

（1）研究テーマ及び設定理由

①研究テーマ

「生徒の学びを深める問いとは？（生徒に深く考えさせる問い）」

②テーマ設定理由

今年度、SSH 第Ⅲ期の指定をうけ、その取組みの柱のひとつに「考察力の育成」を掲げている。探究活動において重要となる考察力は、探究活動だけではなく、普段の授業でも培っていく必要がある力だと考え、今回の授業研究会では、考察力の育成ならびに主体的・対話的で深い学びの実現に向け、授業内での「問い」に注目し、“生徒の学びを深める問いとは？（生徒に深く考えさせる問い）”をテーマとし、教科を越えた教員間の学び合いと”学びを深める問い”の共有、教員・教科の授業力向上を目的とした。

（2）校内研究の取組みについて

①研究の基本的な考え方・全教職員で共通理解したこと（明確化した今年度のポイント）

授業の中の問いを軸に、生徒自身が考えて課題に取り組み、他者と意見交換する場面を作ること。

②具体的な取組み

（ア）10月に事前研修を実施

本研究テーマを進めるにあたり、府教育センターのパッケージ研修支援事業に応募した。その中で10月に事前研修として授業づくりチームの先生を対象に、今年度の授業研究会のテーマの再確認とめざす方向性の確認を目的として、教育センター指導主事から新カリキュラムの要点について講義していただいた。その後、各教科でグループ協議し、教科として生徒につけたい力を考え、教科横断的にいくつも出てくる力が千里高校の生徒に付けたい力であることを確認した。

(イ) 12月に授業研究会を実施

各教科、様々な「問い」の内容や出し方に工夫があった。またほとんどの研究授業でChromebookを活用し、ペアワークやグループワークを行った。

研究授業終了後、問いに対する生徒の反応を各教科で研究協議し、最後に各教科から出た意見を全体協議の場で共有した。



[図 各教科の研究授業の様子]

③取組みの検証方法

(ア) 研究授業後にアンケートを実施

・生徒アンケート（4件法）

今日の授業について

- ① しっかりと考える場面はありましたか。
- ② 知識を活用する場面はありましたか。
- ③ 周りの人と協働する場面はありましたか。
- ④ 自ら考えて、課題に取り組む場面はありましたか。
- ⑤ 知識が身についたと思いますか。

・教員アンケート（4件法） 以下は質問項目より抜粋したもの

- ① 今年の授業研究会のテーマ「生徒の学びを深める問いとは？（生徒に深く考えさせる問い）」は興味深いものでしたか。
- ② 今回の教科での研究授業づくりは、個人的には「対話的で深い学び」について考えるきっかけや刺激になりましたか。
- ③ 本日の授業研究会は、ご自身の今後の授業改善に繋がると感じますか。
- ④ 今回の研究授業では「教師が何を教えるか？」ではなく「生徒に何を学ばせるか？」を強く意識して授業づくりをしましたか。（授業者のみ）
- ⑤ ご自身の授業では、生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めようと思う。
- ⑥ 生徒の学びにつなげるには、教員個人個人ではなく学校全体で授業改善を行う必要があると思う。
- ⑦ 選択項目

【授業づくり者】実際に研究授業を行って、「問い」について、気づいたことや新たな学びは何でしたか？（複数回答可）

【見学者】見学した授業の中で、「問い」について、気づいたことや新たな学びは何でしたか？（複数回答可）

3 取組みの検証

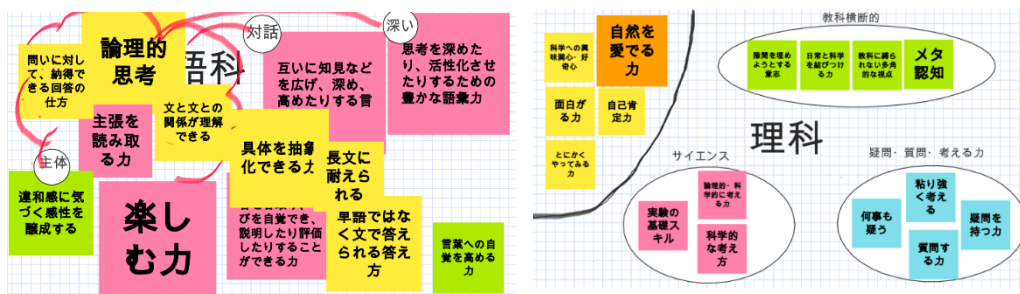
(1) 校内研究の成果

① 各教科3名以上の授業づくりチームで研究授業を考えたこと

研究授業の内容や指導案を授業者一人が考えるのではなく、各教科3名以上のチームを構成し、教科として研究授業をつくってもらった。こちらから特に指示していたわけではないが、各教科とも、経験の豊富な教員から初任者の教員まで幅広くバランスの取れたメンバー構成となっていた。チームのメンバーが様々な意見を出し合い授業をつくっていくため、授業づくりで悩むことが多い初任の教員にとっては、いろいろなアドバイスを聞く機会となった。問いを出す意図やタイミング、授業の流れなど、普段では聞くことができないことまで学ぶことができたため、授業研究会に至るまでも、学校全体としては良い研修の場となっていた。

② 研修の方向性を統一することの重要性

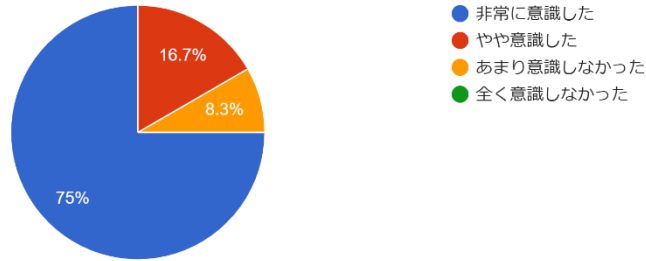
今年度はパッケージ研修の取組みとして、10月に授業研究会に向けた事前研修（講師：教育センター指導主事）を実施した。主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、教科としては生徒にどのような力をつけることができるか。また、「教師が何を教えるか？」ではなく「生徒に何を学ばせるか？」を意識しながら問いを組み立て、授業づくりをするという今年度の授業研究会のテーマの意味を参加教員で統一することができた。この研修は授業づくりのメンバーを対象にし、興味がある教員も参加可能と案内したところ、授業づくりのメンバー以外の教員も多く参加した。（参加者：授業づくりチームの教員20名中17名＋メンバー以外の教員17名 計34名）



[図 研修中のジャムボードの例]

事前研修で伝えたこともあり、事後アンケートによると授業づくりに関わった教員の91.7%が「教師が何を教えるか？」ではなく「生徒に何を学ばせるか？」を意識して今回の研究授業を構築した。各教科の方向性を統一することで、12月の授業研究会としての狙いの部分がそろい、事後の研究協議や全体共有会での他教科の意見や協議内容も自教科のこととして考えることができた。

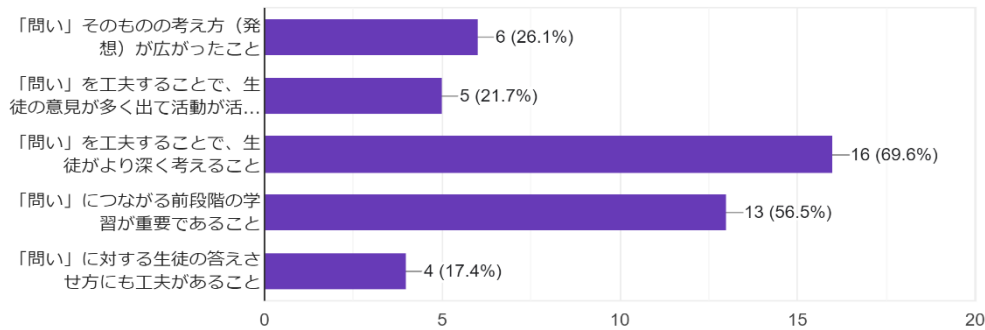
今回の研究授業では「教師が何を教えるか？」ではなく「生徒に何を学ばせるか？」を強く意識して授業づくりをしましたか。



[図 教員用事後アンケート質問④の結果]

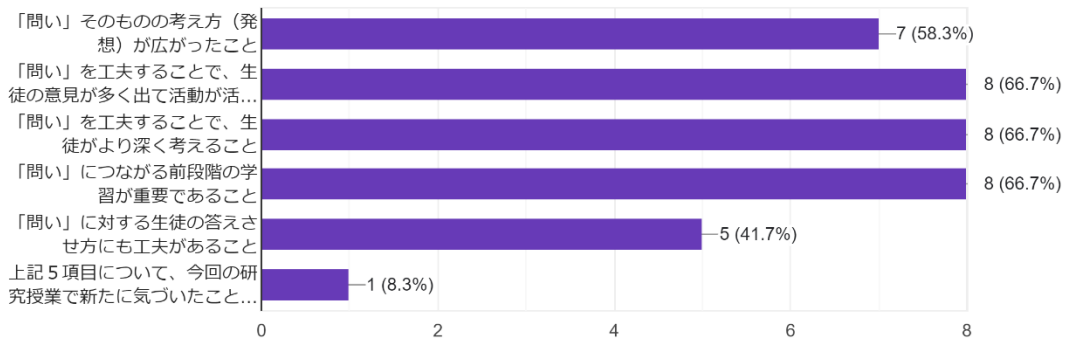
③ 深く考えさせる「問い」というテーマにしぼった研究授業

見学した授業の中で、「問い」について、気づいたことや新たな学びは何でしたか？



[図 見学者教員用事後アンケート質問⑦の結果]

実際に研究授業を行って、「問い」について、気づいたことや新たな学びは何でしたか？



[図 授業づくりチーム者教員用事後アンケート質問⑦]

研究授業のテーマを「深く考えさせる問い」にしぼったため、授業の中のどの部分を中心に見学すればよいか明確にすることができた。アンケートからもわかるように授業の流れの中で、ペアワークやグループワークへ持っていくためにどのように問いを出しているのか、各教科とも工夫をしており、今年度、自身の授業で悩んでいた教員にとっては、今後の授業の良いヒントをもらうきっかけとなった。

(2) 生徒の変容（授業改善により生徒にどのような育ちが見られるか）

	平均値
今日の授業では、しっかりと考える場面はありましたか	3.80
今日の授業では、知識を活用する場面はありましたか	3.60
今日の授業では、周りの人と協働する場面はありましたか	3.87
今日の授業では、自ら考えて、課題に取り組む場面はありましたか	3.76
今日の授業では、知識が身についたと思いますか	3.56

〔図 事後の生徒アンケート〕

回答の「非常に当てはまる」を4点、「やや当てはまる」を3点、「あまり当てはまらない」を2点、「全く当てはまらない」を1点として平均したもの

今年度の授業研究会では「生徒の学びを深める問いとは？（生徒に深く考えさせる問い）」をテーマに行った。事後アンケートより、各教科の研究授業が生徒自身にしっかりと考える機会を作ることができていたことがわかる。グループワークを行った教科も多く、周りとの協働する機会も多く、普段見ることができない生徒の姿を見ることができたと見学している教員からも意見が出ていた。

(3) 教員の変容（授業改善により教員が何を学んだか・どのような感想をもったか）

1つめは成果の部分でも記入したが、授業づくりの構成メンバーも経験の豊富な教員から経験年数の少ない初任者の教員まで各教科ともバランスよく構成されており、初任者の教員にとっては授業を構成する話し合いをするうえで、何を意識して授業を構成するか、経験豊富な教員から直接学ぶ良い機会となった。

2つめは今年度より評価が3観点に変わり、1年生の授業ではペアワークやグループワークなどを行い発表する機会を作る教員が多くなっている。今年度から実施している教員の中には問いの設定や評価の部分で困っていることも多い。ほとんどの教科でペアワークやグループワークを行い、さらにChromebookを活用していたこともあり、授業の方法で悩んでいた教員や、まだICT機器を十分に活用できていなかった教員にとっては、設定方法や活用方法を学ぶ機会にもなった。

	平均値
今年の授業研究会のテーマ「生徒の学びを深める問いとは？（生徒に深く考えさせる問い）」は興味深いものでしたか	3.57
今回の教科での研究授業づくりは、個人的には「対話的で深い学び」について考えるきっかけや刺激になりましたか	3.75
本日の授業研究会は、ご自身の今後の授業改善につながると思う	3.26
ご自身の授業では、生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めようと思う	3.57
生徒の学びにつなげるためには、教員個人個人ではなく学校全体で授業改善を行う必要があると思う	3.31

【図 事後の教員アンケートの質問①②③⑤⑥の結果】

回答の「非常に当てはまる」を4点、「やや当てはまる」を3点、

「あまり当てはまらない」を2点、「全く当てはまらない」を1点として平均したものの

4 今後に向けて

(1) 今年度の課題

①継続的な授業改善に向けて

本校の「授業研究会」は今年度で4回目となる。これまで本校では、担当者と管理職が研修のテーマや内容を考えてきた。継続性と発展性のある「授業研究会」にするには、しっかりとした研修推進組織を作り、取り組んでいく必要がある。

②アンケートの回収率について

研修後のアンケートの回収率が67.6%と低かった。研修後その場でGoogleformsで入力する予定にしていたが、Chromebookを持ってきている教員が少なく、その場に持ってきていない教員のアンケートを後日入力としたことで、回収率が上がらなかった。

③事前アンケートの実施

生徒、教員とも事前にアンケートを行っていなかったため、大きく変容を見ることができなかった。次年度では変化を読み取ることができるよう、事前アンケートを実施する必要がある。

(2) 次年度に向けて

今年度、パッケージ研修支援事業およびカリキュラム・マネジメントリーダー研修を受講して他校の授業改善の取組みを知り、「組織的な授業改善」について改めて考える機会を持つことができた。継続的な授業改善に向けて、管理職とも相談の上、次年度は授業改善のチームを立ち上げて校内研修を行うように計画が進んでいる。今後さらに実りある授業改善研修を進めるには、研修後の教員の意識や要望などを取り入れたうえで、次年度以降の研修内容を考えていくことや、研修後の生徒や教員の変容を経年比較していくことが重要である。

次年度、本校はリーディングギガハイスクールに指定されていることもあり、授業内のICTの活用にも力を入れていく必要がある。校内のICT委員会とも連携し、授業の中でどのようにICTを活用し、授業改善を進めていくかが求められている。

令和4年度 校内研修年間実施報告書

1 令和4年度の目標（テーマ・主題）

<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学びを深める問いとは？（生徒に深く考えさせる問い） ・「主体性を引き出し、考察力を高める問い（良い発問）」について
--

2 実施日・内容等

月	日	校 内 研 究 の 実 際	
		研究推進委員会 等	教職員全体研修会 等
5	2	管理職と今年度の授業研究会のテーマ 打ち合わせ	
6	24	企画調整委員会 授業研究会の日程・目的・テーマ・実 施形態案	
7	8	企画調整委員会 授業研究会の日程・目的・テーマ・実 施形態決定	
7	20		職員会議 授業研究会の日程・目的・テーマ・実施 形態を全体へ連絡
9	9	各教科打ち合わせ 授業づくりチーム決定	
10	3		全体研修 対象：授業づくりチーム（＋全教職員） 内容：・高等学校学習指導要領改訂の要点 と、他校の実践事例の紹介他校で の好事例の紹介 ・12月の「授業研究会」に向けて、 各教科のめざす方向性の共有
11		指導案の様式を提示 各教科グループより指導案提出 見学者へ見学希望授業のアンケート実 施	
12	9	企画調整会議のメンバー 事後アンケート項目の確認・決定	
12	15	各教科との打ち合わせ	職員会議

		テーマ確認 授業見学グループ分け	授業研究会・授業見学グループについて 説明
12	19		授業研究会・研究協議 全体で情報共有
1		事後アンケート集計・分析	
3			職員会議 授業研究会の振り返り報告

令和5年度 校内研修年間実施計画書

1 令和5年度の目標（テーマ・主題）

候補 ICT 機器を活用した授業づくり

2 年間予定

月	日	校 内 研 究 の 実 際	
		研究推進委員会 等	教職員全体研修会 等
4		授業改善 PT メンバー選出 今年度の授業研究会のテーマ候補出し	今年度のテーマの希望についてアンケート実施
5		授業改善 PT 今年度の授業研究会のテーマ打ち合わせ	
5		授業改善 PT 授業研究会の日程・目的・テーマ・実施形態案作成	
6		授業改善 PT 授業研究会の日程・目的・テーマ・実施形態決定	
7		授業改善 PT 全体研修の日程・テーマ・講師の選定	職員会議 授業研究会の日程・目的・テーマ・実施形態を全体へ連絡
8		授業改善 PT 生徒・教員への事前アンケート実施 (研修後の変容をみるため) 研究授業へ向けた授業者または各教科への案内を打ち合わせ	
9		授業改善 PT	
10			(授業改善に向けた全体研修)
11		授業改善 PT	
12			授業研究会直前の職員会議 授業研究会・見学について説明
12		授業改善 PT 事後アンケート実施	授業研究会実施 (授業改善に向けた全体研修)

12		授業改善 PT 事後アンケートの集計	
1		授業改善 PT アンケートから変容分析 次年度のテーマ検討	
2			職員会議 授業研究会の振り返り報告